

## 廃棄物・リサイクル分野における 国内コベネフィットプロジェクト創出に関する事業の概要（案）

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

### 1. 目的

国内での廃棄物・リサイクル分野における地球温暖化対策をさらに推進するための有効な手段として、コベネフィットプロジェクトを取り上げ、その国内における取り組みの動向を把握し、普及促進を図るために必要な方策やルール、温室効果ガス削減量のクレジットとしての認証や検証等の方法について検討する。また、セミナー等の開催により、国内コベネフィットプロジェクトの普及啓発を図る。

### 2. 今年度の事業内容

#### ①研究会における検討

国内で現在行われている廃棄物・リサイクル分野におけるコベネフィットプロジェクトについて、調査、整理及び評価を行い、クレジット創出の可能性の高い取組や普及促進すべき取組を抽出する。抽出された取組について温室効果ガスの定量的な削減量把握手法・技術等を検討する。

地域ぐるみの廃油回収などの3Rの取組など、小規模な活動を含めたコベネフィットプロジェクトについて、温室効果ガスの削減効果の算定手法等を、オフセット・クレジット(J-VER)制度での認証の観点などから検討する。

試行的国内排出量取引制度について、廃棄物・リサイクル分野では収集運搬に関するプロジェクトが2社申請されているが、参加が進まない要因を分析し、取組の分野を中間処理や最終処分に拡大するなどの方策を検討する。

#### ②廃棄物・リサイクルコベネフィットセミナーの開催

全国3カ所において、廃棄物・リサイクル分野における国内コベネフィットプロジェクトに関するセミナーを開催する。セミナーにおいては、参加者に対して地球温暖化対策の取組状況やJ-VER制度、試行的排出権取引制度等の認知状況を調査し、研究会における検討のための情報収集を行うとともに、廃棄物・リサイクル分野におけるコベネフィットプロジェクトの促進を図るための普及啓発活動を行う。

### 3. 検討のスケジュール

有識者からなる研究会を立ち上げ、平成21年7月～22年3月まで4回程度開催する。

開催時期	検討項目(案)
7/14(火)	(第1回) <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度の検討内容及び目標について</li><li>・コベネフィットプロジェクト抽出に向けた調査について</li><li>・セミナー開催等の普及啓発方法について</li></ul>
9月上旬	(第2回) <ul style="list-style-type: none"><li>・コベネフィットプロジェクト抽出の調査結果について</li><li>・廃棄物業者の取り組みのJ-VER化について</li><li>・試行的排出量取引制度への廃棄物業者の参加促進について</li></ul>
10月	全国3カ所(東京、大阪、北九州)でセミナー開催
11月下旬	(第3回) <ul style="list-style-type: none"><li>・市民・自治体レベルの取り組みのJ-VER化について</li><li>・試行的排出量取引制度への廃棄物業者の参加促進について</li></ul>
平成22年2月	(第4回) <ul style="list-style-type: none"><li>・J-VER化を目指す取り組みの温室効果ガスの削減量把握手法・技術等について</li><li>・コベネフィット対策のJ-VER化促進に係る支援施策について</li></ul>

平成22年度、具体のプロジェクトについて方法論(案)の策定を予定

#### 【研究会メンバー】

一方井 誠治	京都大学経済研究所教授
加藤 真	社団法人海外環境協力センター主席研究員
佐々木 五郎	社団法人全国都市清掃会議専務理事
堤 恵美子	株式会社タケエイ上席顧問
新美 育文	明治大学法学部教授
山田 正人	独立行政法人国立環境研究所主任研究員